

■ 行動

- 入浴時、自分の脱いだ衣類の所在が分からなくなり、翌朝それがないと分かれると癩癩を起し、登校を渋ったり、職員に対して暴言を吐いたりする。

■ 原因

- 脱いだ服の扱い方が決まっていない。
- 脱いだ服をご本人が所定の場所（自室にある洗濯カゴ）へ持って行ったり、職員が直接、寮の洗濯機で洗ったりするなど、管理体制がバラバラである。

■ 支援

- ご本人に対しては、脱いだ服を入浴する際に所定の場所に出せるよう統一した。

■ 結果

- 衣類の管理体制が明確になり、脱いだ衣類の所在が不明になることがなくなった。
- 本児も衣類を自分で管理できているという自信に繋がり、生活スキルが上がった。
- できることが増えたことで褒められる機会が増え、自己肯定感が高まった。